

アクシスの
 最新情報は
 こちら >>>

超高級ホテルの一端があきらかに
鷹島・名南風鼻の売却、
周知の遅れを指摘する声も

県立自然公園に指定され、日本遺産の構成文化財にもなっている広川町の「鷹島(たかしま)」と、その対岸に位置する岬「名南風鼻(ななばえのな)」のこの町有地を売却し、首都圏で高級旅館を展開する「株式会社強羅(こうら)花壇(以下強羅花壇)」を誘致する計画が、高い関心を集めています。町は昨年12月、議会ではじめて事業内容を報告。議員からは、周知の遅れや事業の妥当性について発言が相次ぎました。町民への説明もまだほとんど行われておらず、町では1月以降、説明会を開催していくとしています。

※記事の内容は1月8日時点のものです。



名南風鼻にホテルが建つイメージ。左奥が鷹島。

（ 広川町議会での説明内容と強羅花壇の宿泊施設、実際の鷹島・名南風鼻の写真を元に、本紙でChatGPTを使用して作成したイメージ画像 ）

険しい山道を大幅ショートカット！
海南金屋線の改良区間、
1月18日に”ほぼ全線”開通

海南く金屋を結ぶ県道・海南金屋線。クネクネした山道で知られる同線ですが、1月18日(日)15時、新たにトンネルをふくむ改良区間がついに開通！正確には金屋側にわずかな区間を残してのようになり、時間の短縮のみならず、災害時の備えとしても効果を発揮することが期待できそうです。



新たに開通する「鏡石トンネル」の海南側
入口付近(写真提供＝県海南工事事務所)

県が管理するトンネルとして最長「鏡石トンネル」

新しく開通する区間
中心となるのが、全
2・6キロの「鏡石ト
ネル」です。

県の道路建設課によ
ると、和歌山県と大阪
府にまたがるトンネル
ではもっと長いトンネ
ルもあるものの、それ
らは管理も府・県で分
す。

**要望から30年以上、工事開始から15年
周辺人口は大幅に減少**

海南く金屋にまたがる山を越えるこの区間については、地元では

(12月10日の全員協議会の内容を元に本紙で作成)

強羅花壇による 事業計画の一部

客室構成	40室(全室100平米以上)
付帯施設	プール、ジム、エステなど
サービス	1組につき専属の係を配置
経済効果	・開発工事に従事するのべ人員は20万人以上 ・食材の仕入れで年間約3億円を想定 ・トータルで100名を雇用
ターゲット	年間利用客約3万2000人 うち7割が外国人
鷹島の活用	宿泊客向けのプライベートビーチ

**1部屋100平米超、
全室テラス付きの超高級仕様**

広川町は昨年10月末
 ホームページで鷹島・
 名南風鼻で宿泊施設を
 整備する事業者を募集
 すると発表。プロボー
 ガル入札の結果、強羅
 花壇が優先交渉権者に
 選定されました。入札
 への参加事業者は、1
 者のみでした。

昨年12月10日に開か
 れた、広川町議会の全
 員協議会。町は強羅花
 壇側から提出された事
 業計画の内容について
 説明しました。協議会
 は傍聴可能でしたが、
 撮影や録音は一切禁止
 という条件で行われま

した。
 説明された計画によ
 ると、名南風鼻に建設
 される宿泊施設は客室
 数をわずかに40室に限定。
 一室あたり100平米
 （約60畳以上という広
 さを確保し、全客室に
 海を一望できるテラス
 を完備するという超高
 級仕様です。強羅花壇
 が運営する箱根や富士
 の宿泊施設は、1部屋
 あたりの単価は20万円
 近くにも上るとのこと
 です。

さらにプールやジム
 エステ、大浴場などを
 備え、1組の客に専属

の係が付く手厚いサー
 ビスを想定。年間3万
 2000人程度の利用
 を見込み、その7割は
 外国人富裕層をターゲ
 ットにするとしていま
 す。また鷹島は、宿泊客
 専用のプライベートビ
 ーチとして活用する方
 針が示されました。

また強羅花壇につい
 ては70年以上の歴史が
 あり「箱根と富士で超
 高級宿泊施設を経営し
 ていること」「3ミシュ
 ランキーを取得するな
 ど高い評価を受けてい
 る」といった説明があ
 りました。

「9月に初めて聞いた」
「もっと早く周知できなかったのか」

続いて行われた12月24日の町議会一般質問。30席ほどの傍聴席は満席となりました。

上がりました。堀川秀間が訪れた」と質問し、幸議員は「こういう開発をしている」という話、地元や我々議員町長は「2020令和

一般質問には2人の議員から、町の説明のよかったのではないかと、初めて議論する瞬間「を指摘する声が今、初めて議論する瞬間」を指摘する声が今、初めて議論する瞬間

鏡石トンネルの入口
(写真提供＝県海南工事事務所)

古くから整備の要望が
上がっていました。
95年12月の県議会で
すでに、吉井和視議員
と、海南金屋線の工
事が始まったのは20
11年度。工事開始か
ら、約28%、有田川町では
約20%もの減少となっ
ています。

かの金屋町から海南市間の現状は、非常に狭く、大型トラックが通行困難な道路でありますゆえに、地域住民として多年の悲願としてトンネル化を望んでいるところであります。県においてもこのことについて、ずっと以前から国に対して要望を続けていただいていると思います」と発言しています。

の開通となります。海南市の統計によると、2011年度の海南市の人口は約5万6000人。昨年12月末では約4万5000人となっており、約20%減少しています。同じく有田川町は約2万8000人から24000人と、約15%の減少です。前述の県議会での発言があった95年と比べると、地元の要望から30年以上、工事開始から15年を経てほぼ開通した海南金屋線の新区間、移動時間の短縮に加え、走行の安全性向上や災害への備えとして期待される一方、急激な人口減少が続く中では、道路整備の意味や役割も、これまでとは違った視点で考えられる時期に来ているのかもしれない。

[illegible]

「この企業に断られた、このスーパーに断られた、ということを逐一申し上げる必要はない。公募して決定した段階で即座に議会に申し上げて公表した」と答弁し、公表のタイミングには問題ないという認識を示しました。

町長に続いて副町長も、「や」と優先交渉権が決まった。今のタイミングがベスト」と述べています。

これに対し堀川議員は「企業名言うてるわけじゃなくて」と発言し、ややかみあわない議論に。同議員は続けて「9月に初めて聞いた」「混乱を招く恐れがあるので口外しないでください、と言われた」などと発言しています。

尾崎紀之議員も「もっと早くに、もっと広くに町民に周知して、多くに意見を求めながら、いろいろ進めていくというようなことはできなかったのかなと思うんですけど、いかがでしょうか」と質問した。

これに対し町の企画政策課長は「手を上げようとしている企業さんがいる時において、企業情報を事前に漏らすということは、やはり難しいと考えています」「企業さんにとって情報を漏らされるといのは非常に辛いというか、進出を諦めてしまうという事例がありまして」と答弁。企業への配慮が原因であったことを匂わせまし

町長「歴史や文化には疎いんで」
「強羅花壇さんならしっかり清掃してただける」

12月10日の町の説明によると、強羅花壇は事業計画の中で「世界遺産に登録された熊野古道の精神を蘇らせる」といった主張をしています。しかし広川町を通る熊野古道(紀伊路)は、世界遺産には登録されていません。一方で鷹島で発掘された「鷹島式土器や、鷹島で修行、鷹島の石を終生大事にしたという鎌倉時代の高僧・明恵上人など鷹島の歴史について、この日説明された中では触れられていませんでした。

檜原町長は12月24日の議会で、「私は歴史や文化には疎いんで」「鷹島を売り出したことで明恵上人への関心を」とも発言しています。

数年前から誘致活動
声をかけた状態で入

県観光交流課によれば、数年前から県内各地にホテルを誘致する活動を展開。鷹島・名南

1種特別地域（現在のたためプロポーズ）を景観を極力保護することが必要な地域」となっており、実施した町企画政策課と話していました。

特定の企業と交渉を

風鼻も傾斜地のひとつとなっており、強羅花壇側が関心を示したことです。

本紙では町に事前重ねていたのではありませんか。あたかも「に声をかけていたので、他社に比べ、事業計画があれば、随意契約でもを練る時間的猶予があった可能性はあります。」と

同様に、鷹島では「金銭ではなく内容の買収は強羅花壇側が希望したこと。鷹島は県立自然公園の第Ⅱ期整備で、声をかけており、他が応募する可能性もあつた」との結果をホームページで公表しています。

鷹島では、「金銭ではなく内容の買収は強羅花壇側が希望したこと。鷹島は県立自然公園の第Ⅱ期整備で、声をかけており、他が応募する可能性もあつた」との結果をホームページで公表しています。

歴史は繰り返す？ 60年前と同じ「売却益の使い道」

12月24日の議会で、榎原町長は売却益の用途について問われ、老朽化している耐久中学校の建て替え費用にあてることを示唆しました。

当時の売却益もまた「耐久中学校の建設資金」にあてられていました。その後、保存運動などを経て2002平成14年に町が買い戻した経緯があります。当時の「先住者の守ってきたものを守れたという、大変な感慨がある」と発言しています。

今回売却が実行されれば、60年前と全く同

鷹島と名南風鼻は1964(昭和39)年にも一度、当時の町によって売却されています。石原町長は「議会では、土地が売却されたとき、残念なことであつた」と振り返り、買い戻しになります。

住民への説明会、ほとんどこれから

12月24日の議会では、出席しない見通しとの
12月18日に町が西広区
ことでは、同じ目的に使われよう
としています。周知や

の役員に事業にこめて説明したこともあきらかにしました。本紙で町に聞いたところ、1月以降、他の地区でも説明会を予定しているとのことでした。ただし、強羅花壇は説明会にはなっており、奇しくも売却益もいでしょうか。

[illegible][illegible]

しました。

これに対し町の企画政策課長は「手を上げようとしている企業さんがいる時において、企業情報を事前に漏らすということは、やはり難しいと考えています」「企業さんにとって情報は漏らされるといふのは非常に辛いといふか、進出を諦めてしまふという事例がありまして」と答弁。企業への配慮が原因であったことを匂わせました。

得ることができ、かえって良かった」などと言っている。また現状の鷹島について「町で鷹島の維持管理を行うことは非常に難しい」「漂着したごみで一杯だが、掃除するお金を投資することは難しい。強羅花壇さんならしっかり清掃していた」などとも言っています。

たためプロポザルを
実施した町企画政策課」
と話していました。

特定の企業と交渉を
重ねていたのであれば、
他社に比べ、事業計画
を練る時間的猶予があ
った可能性がありまし
た。これはプロポザル入
札（金額ではなく内容
で事業を選ば入札方
式）の結果をホーム

公表となっています。

たことについて「先祖の守ってきたものを守れたという、大変な感慨がある」と発言しています。

今回売却が実行されれば、60年前と全く同じ土地が売却され、ふたたび同じ目的のために売却益が使われることとなります。

同じ目的に使われようとしています。周知や説明の遅れが指摘される中、将来、ふたたび「大変残念なことであった」とならないのか。今一度しっかりと周知して意見をつのり、議論する時間が必要なのではないでしょうか。

ACE/DKMS20ABP01.V10C.14x5
AAI.P00/"朝日新聞"14x5
◎古道 (<https://www.asahi.com/articles/ASJ3RDCRCLE3RKLBB01A.html>)
西有田県立自然公園和歌山県
書及び公園計画書 | hntti
www.pre.kyaukyaku.jp/pre/preg/130400/d0020
4665/f/ik/keikaoku01
環境省国等の機関における
契約の概要をお知らせす
ています。env.go.jp/commu
nity/35fahru-keiyaku/y356e
01/en01.pdf)

[illegible]